

九州支部活動参加報告 「TOTO ミュージアム見学会及び意見交換会」

天米 穂

株式会社神崎工務店

1. はじめに

この度、2023年6月11日（日）に九州支部の活動として開催されました「TOTO ミュージアム見学会及び意見交換会」に参加させて頂きましたので、以下に報告します。

2. TOTO ミュージアム見学会

TOTO は、1917年に東洋陶器株式会社として創立、1970年に東陶機器株式会社、2007年にTOTO株式会社と社名を変え現在に至ります。下水道が整備されていない時代から、国民の健康で文化的な生活の実現のため、水洗便器をはじめとした衛生陶器の製造を行ってきました。そんな中、創業の精神や歴史を正しく理解し、受け継いでいくことを目的に創立100周年の記念事業としてTOTOミュージアムが開設されました。

ミュージアムの建物には、人や環境にやさしい工夫が盛り込まれ、ものづくりを通して持続可能な社会の実現を目指す、TOTOの理念が実践されています。ミュージアム内には、水まわり製品やティーセットなどの、衛生陶器の実物や復元品が展示されています。

各時代の歴史的な背景や文化の移り変わり、技術的な発展に伴い、それらがものづくりやサービスに反映されています。したがって、ミュージアムを見学する中で、TOTOの遍歴や想いをうかがい知ることが出来ました。



図1 国産初腰掛式水洗便器



図2 水まわり商品の進化

3. 意見交換会

話題は「障がいのある子どもの排泄環境」。個々人の身体状況や介助方法を加味し、当事者やそのご家族の心理面も含めた福祉用具の活用・住環境整備、よりソフトなサービス面の支援に関して意見交換を行いました。また話題は、障がいのある子どもを取り巻く社会や制度面の課題から、公共トイレを中心としたパブリックスペースの環境整備の考え方で多岐に渡りました。

障がい特性と個々人の特性に、環境を適合させていく過程で、その度合のグラデーションを見極めることが重要であると感じました。

4. 終わりに

敢えてマクロな視点でのまとめとなりますが、テクノロジーの進歩を人々の暮らしに反映させながら、時代や文化と共に変化する対象者のニーズに向き合い、生活環境支援を実践する意義を強く感じました。

株式会社神崎工務店

〒800-0257 福岡県北九州市

小倉南区湯川 5-8-28